



2024年5月9日

各位

会社名 藤田観光株式会社
代表者名 代表取締役兼社長執行役員 山下信典
(コード番号:9722、東証プライム)
問合せ先 企画本部経理財務部長 藤石圭助
(TEL. 03-5981-7723)

業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、2024年2月14日に発表いたしました2024年12月期の通期連結業績予想を、下記のとおり修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

1. 業績予想の修正について

2024年12月期 第2四半期 連結業績予想 (2024年1月1日～2024年6月30日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する四半期純利益	1株当たり四半期純利益
前回発表予想 (A)	百万円 32,700	百万円 2,000	百万円 2,000	百万円 1,500	円銭 125.15
今回発表予想 (B)	35,200	3,700	3,900	2,900	225.42
増減額 (B - A)	2,500	1,700	1,900	1,400	
増減率 (%)	7.6%	85.0%	95.0%	93.3%	
(参考) 前期第2四半期実績 (2023年12月期第2四半期)	29,162	1,912	2,504	3,073	256.41

2024年12月期 通期連結業績予想 (2024年1月1日～2024年12月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり当期純利益
前回発表予想 (A)	百万円 68,700	百万円 6,000	百万円 5,800	百万円 5,300	円銭 442.21
今回発表予想 (B)	72,500	8,500	8,500	7,000	550.68
増減額 (B - A)	3,800	2,500	2,700	1,700	
増減率 (%)	5.5%	41.7%	46.6%	32.1%	
(参考) 前期実績 (2023年12月期)	64,547	6,636	7,081	8,114	677.03

2. 業績予想修正の理由

(1) 第2四半期連結累計期間

足元では訪日外国人数の増加に伴いインバウンド需要が大幅に回復し、主にWHG事業で海外向けセールス強化や地方事業所へのインバウンド送客施策を継続実施したことにより、インバウンド宿泊者数が増加しました。また、国内外の観光需要の取り込みを強化し、1室当たり平均宿泊人員が増加したこと等により、ADR (客室平均単価) が当初予想以上に大きく上昇しました。

これらにより、売上高は前回発表した業績予想を上回る見通しとなりました。また、営業利益、経常利益、親会社株主に帰属する四半期純利益につきましても、増収と連動して前回予想を上回る見通しとなりました。

(2) 通期

下期（7月～12月）につきましても、足元で取り組んでいる施策の継続実施等によりWHG事業でADRが前回予想を上回る傾向が続くことが見込まれるため、売上高は前回発表した業績予想を上回る見通しとなりました。また、営業利益、経常利益、親会社株主に帰属する四半期純利益につきましても、増収と連動して前回予想を上回る見通しとなりました。

従いまして、通期におきましては「1. 業績予想の修正について」に記載のとおり、第2四半期連結累計期間の修正額を上回る増収、増益を見込んでおります。

(注) 上記の予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後様々な要因によって予測数値と異なる可能性があります。

3. セグメント別業績予想

(単位：百万円)

	第2四半期累計期間 (1月～6月)		通期 (1月～12月)	
	今回予想 (5/9発表)	前回予想比 (2/14発表)	今回予想 (5/9発表)	前回予想比 (2/14発表)
売上高	35,200	2,500	72,500	3,800
WHG事業	21,000	2,000	42,800	3,300
L&B事業 ※1	8,800	—	18,100	—
リゾート事業	4,800	400	10,400	400
その他(調整額 ※2 含む)	600	100	1,200	100
営業利益	3,700	1,700	8,500	2,500
WHG事業	3,500	1,500	7,100	2,300
L&B事業 ※1	300	—	800	—
リゾート事業	0	200	700	200
その他(調整額 ※2 含む)	△100	—	△100	—
経常利益	3,900	1,900	8,500	2,700
親会社株主に帰属する 当期(四半期)純利益	2,900	1,400	7,000	1,700

※1 L&B事業…ラグジュアリー&バンケット事業

※2 調整額…セグメント間取引消去によるものです

以 上